

道徳科学習指導案

日時 令和元年 7月3日(水)
児童 2年生 男子 名 女子 名 計 名
授業場
授業者

1. 主題名 負けない心を【A 希望と勇気, 努力と強い意志】

2. 教材名 「はりきりパンダとだらだらパンダ」(「小学どうとく2 はばたこう明日へ」教育出版)

3. 本教材で育てたい児童の姿

- ・自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さがわかる。(道徳的価値理解)
- ・やるべきことをしっかりと行うことは、自分自身を高めていくうえで大切であることに気付き、自分を律するためのさまざまな方法を考える。(多面的・多角的に考える)
- ・自分のやるべきことを行うためにどうすればよいかを考え、すすんで自分の生活の中で取り入れようとする意識を高める。(自分の生き方に結び付けて考える)

4. 単元観・児童観・指導観

人として自立し、よりよい生き方をしていくためには、自分自身を高めたという意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことをしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。

小学2年生段階の児童は何事も好奇心をもって行おうとする。やらなければならないことを素直に受け入れることも多い。一方で、目の前の楽しいことに夢中になり、自分のやるべきことを後回しにしてしまったり、途中でくじけてしまったりする心の弱さも日常生活の中で見られる。やるべきことをしっかりと行うことは、自分自身を高めていくうえで大切であり、児童が主体的に取り組んでいくために、今後の自分の生き方について自己決定できるよう学習を進めていく。

そのための手立ては大きく2つある。

1つ目は、「必要感を伴う問題との出会いⅠ」である。今回は児童が探し出したテーマで展開する「価値追求」型の導入とする。これにより、児童が自分の経験を想起しながらより主体的に考える意欲を高め、自分でもった疑問や視点で考えを巡らせた先に、児童自らが得る道徳的価値があり、納得解があるものとする。

2つ目は、「補助発問」「問い返し」による児童相互の対話の活性化Ⅱである。自身のもつ心の弱さと向き合った後、違う立場・立ち位置から物事を見つめたり、議論したりすることができるよう補助発問・問い返しを準備しておき、状況に応じて児童に投げかける。これにより、新たな価値の一面に気付いたり、多様性に触れたりすることで、多面的・多角的思考へと高め「自己決定」へ導くことができるようにする。

5. 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり

自分に適した目標を設定し、見通しをもってよりよい自己を実現しようとする向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚できるようになる。そのためにも、児童がより高い目標を立てたり、その実現を目指して自分としての夢や希望を掲げたりすることが大切である。マラソン記録会や運動会に向け、自己や集団の目標をもち、そこに向かってやり抜くことの大切さについて他者の意見をよく聞き話し合う活動を核として、合意形成して実践していく上で必要なことを理解し、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとする態度を育てていく。



6. 題材を通して育む「自己決定力」

本題材では、「自己理解」から「自己決定」までを一連の流れとして捉え、「自己決定力」を育むことを目指す。導入段階で、自分自身を改めて見つめ直す中で「自己理解」を図り、不確かであっても「自己」をもつことにより道徳的価値について自分事として捉え、主体的に児童同士の対話に参加する姿を生む。その後、授業の中心場面における話合いや議論といった対話的な学びを充実させることにより、多様な価値に触れ、様々な立場・立ち位置から物事を捉え、自分にとってよりよい選択や判断ができる力(「自己決定力」)を育むことを目指し展開していく。

7. 本時案

(1) 本時のねらい

「はりきりパンダ」と共に行動した先、「だらだらパンダ」と共に行動した先の自分の姿を考えることで、怠けたいという気持ちに負けないで、自分のやるべきことを強い意志をもって行おうとする実践意欲を高める。

(2) 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の姿 ○教師の働きかけ・発問（△補助発問，□指示・説明） 手立て</p>	<p>【評価の観点】 ◇評価の内容 ・指導上の留意点</p>
<p>1 教師の範読から、学習テーマを決める I ○「あやちゃんが何に困っているのか探しながら読んでください」 ・「あくまのささやき」 ・「あとまわし」 ・「よわい気もち」 『 』 ※児童の言葉で学習テーマを決定する</p>	<p>・道徳ノートの記述は児童のタイミングで自由に書くことが出来る。</p>
<p>2 自分の経験を想起する (自己理解) 【悪魔の囁き】…○「あくまにささやかれたことってあるんですか？」 【あとまわし】…○「何かを後回しにしたことってありますか？」 【弱い気もち】…○「自分の気持ちが弱いなど思ったことってありますか？」</p>	<p>【ネームプレートの活用】 ・児童のネームプレートを活用し、誰がいつどのような発言をしたのかが分かるようにする。</p>
<p>3 学習テーマについて考え、議論する (多面的思考) ○「「はりきりパンダ」が出てくるのってどんなとき？」 ○「「だらだらパンダ」が出てくるのってどんなとき？」 △「それぞれのパンダが出てきたとき、どんなふうになるの？」 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【はりきり】心の天使 ・「元気なとき」 ・「やる気があるとき」 ⇒もりもりがんばれる、もっとやりたくなる</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【だらだら】心の悪魔 ・「疲れているとき」・「他にやりたいことがあるとき」 ⇒時間がかかって、いつまでたっても終わらない</p> </div> </div>	<p>・自分の考えをもつきっかけとなった友達の発言を児童が意識できるようにする。</p>
<p>4 自分の経験と照らし合わせて考えを深める (多角的思考) ○「みんなの中にはどっちがいるの？」 △「いつもはりきりじゃなきゃ駄目なの？だらだらがいたら駄目？」 II</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>・「だらだらしたい気分の時だってあるよね」 ・「だらだらは駄目ではないけど、そればかりだと困る」 ・「上手に使い分けられたらいいのかな」</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>・「めんどくさくても頑張れば、後からいい気持ちになれるような気がするよ」 ・「悪魔のパンダに勝てたら、もっときらきらな自分になれるんじゃないかな」</p> </div> </div> <p>△「それぞれのパンダの先にはみんなのどんな姿が待っているんだろうね」 △「みんなはどっちを大きく育てていきたい？」</p>	<p>・自分の考えが整理できない児童に対し、他の児童の発言の中から一番納得いくものを選択するよう促したり、組み合わせるよう伝えたりする。</p>
<p>5 弱い自分に打ち勝つための自分の言動を考え交流する (自己決定) ○「だらだらが出てきそうになったら悪魔に何て言って退治するの？」 パペットパンダ：「そんなのやめちゃいなよ～」 「後でいいよ～」 「楽しいことしようよ～」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・「先に終わらせた方が後から楽しく遊べるよ！」 ・「やることを後回しにしたくないから、今はちょっとごめんね」 ・「自分のために頑張りたいから、あっち行って！」</p> </div>	<p>・自分の考えが整理できない児童に対し、他の児童の発言の中から一番納得いくものを選択するよう促したり、組み合わせるよう伝えたりする。</p>
<p>6 本時の活動を振り返り、道徳ノートに記述する</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・自分の心には天使も悪魔もいるんだけど、○○さんの意見を聞いて、ちゃんとしなきゃいけないときには、悪魔の誘いを断って、天使の心を大きく育てていきたいと思った。 ・確かに自分の中にはだらだらパンダもはりきりパンダもどっちもいると思った。上手にだらだらを許してあげたり、はりきりを伸ばしてあげたりできたらいいと思った。</p> </div>	<p>◇板書 ◇道徳ノート</p>

